



たてわり班活動で育つ子供たち

校長 早川 修一

1年生が6年生の手を引いて、花のアーチをくぐって入場。先週行われた6年生を送る会の最初の場面です。その姿を見ていて、4月の1年生を迎える会を思い出しました。同じような光景ですが、6年生が1年生の手を引いて、花のアーチをくぐって入場しました。出会いの4月から別れの3月までのこの1年間、たてわり班活動を中心に、休み時間、登校時など、たくさんの場面で1年生と6年生との関わりがありました。最初はぎこちなかった関係もすぐにうちとけ、まるで兄弟のような様子も見られるようになりした。

たてわり班活動は向山小で長く続いている教育活動で、異年齢の児童同士で協力し、学校生活をより充実した楽しいものにするために計画を立て、協力して活動することをねらいとしています。

5月の初めに顔合わせをしてたてわり班がスタートします。6年と1年、5年と3年、4年と2年でペアを決め、お互いに自己紹介したり、ちょっとしたゲームを楽しんだりします。その後、30分間のたてわり班遊び（ハッピータイム）を年間8回、たてわりペアで参加する児童集会を4回行っています。朝、門のところに立って行うあいさつ運動の当番も、たてわり班のペアで行います。また、今年度は全校遠足（ふれあいオリエンテーリング）をたてわり班で行いました。

6年生にとっては、たてわり班で遊ぶ内容を計画したり、相談して話をまとめたり、当日説明したりと、大変な準備があり、苦労もあります。でも、それを経験することによって学べることはとても多く、6年生の成長の大きな原動力となっています。

6年生を送る会の中で、6年生代表から5年生代表へのたてわり班の引継ぎがあります。1年生から5年生までにとって憧れの6年生、お手本の6年生がしてくれていた大きな仕事が、5年生にバトンタッチされます。こうして、向山小のたてわり班活動は、脈々と続いていくのです。

今週の月曜日から、全校朝会の始めの挨拶を5年生が行っています。6年生は、その様子を優しい眼差しで見っていました。間もなく一つずつ学年が上がり、一人一人がそれぞれ大きな成長へと向かっていくことでしょう。

今年度の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。2月号で児童、保護者、教職員の評価結果をグラフでお知らせしたのにつき、今月号では、【「4：そう思わない」の評価理由及び自由記述欄に書かれた意見】について、ご意見や質問とその改善案・回答等（→以降の斜体字で記述）をお知らせいたします。

お子さんは、学校や地域ですすんであいさつをしている。

自分の子を含め道で会ったとき自らあいさつはできていない。「あいさつ運動」を通してもっとたくさんの人とあいさつを交わせるようになって欲しい。小学校の児童はほとんどあいさつしない。公開日など保護者同士も知ったもの同士しかあいさつをしていない。保護者も見本を示すべき。中学の生徒の方が元気にあいさつをしてきて気持ちがいい。学年が上がるにつれてできなくなっている。→すすんであいさつができる子供に育ててほしいというのは、家庭、地域、学校の共通の願いだと考えます。学校の取組では、あいさつ運動、「家族で考えるあいさつ標語」作り、年3回のあいさつカードの活用をしています。しかし、保護者の方が感じていらっしゃるようすすんであいさつができる子供は多くないという現状があり、様々な手だてを考えていきます。

お子さんは、表現力やコミュニケーションの力が身に付いてきている。

日常においても表現力やコミュニケーション能力が足りないと感じることがある。→子供たちのトラブルの多くは、このことが原因になっています。国語をはじめとする各教科、領域で力を身に付けさせるために手だてを工夫していくことはもちろんですが、学校生活全般において自分の考えを相手に伝える、相手の気持ちを読み取ることを指導していきます。

学校は、たてわり班活動（ハッピータイム、ドリームハッピーなど）を通して異年齢集団の活動が充実している。

オリエンテーリングが隔年になるなどよく分からない。ふれあいオリエンテーリングは毎年実施してほしい。行事が先行して「関わり」の積み重ねがあまり感じられない。→ふれあいオリエンテーリングを減らした理由は、PTA運営委員会だよりでもお知らせしましたが、授業時数の確保が困難になってきているためです。今後新学習指導要領の実施に向けて、更なる行事の精選が必要となってきます。そのことについては、どうかご理解ください。縦割り班活動は、向山小の特色でもあり、子供たちの成長にとって重要なものと考えています。そのため、一昨年度から30分間のたてわり班遊び（ハッピータイム）を年間8回実施しています。児童集会では、年間8回のうち4回はたてわりペアで参加する内容を取り入れました。今後も続けるとともに、さらに内容を充実させていきます。また、HPでたてわり班活動の様子をさらに詳しく伝えるとともに、日々のたてわり班活動を充実させ、6年生の活躍の機会を大切にしていきます。また、一人一人の児童が成長できるような学校行事を目指します。

学校は、道徳の授業や読書活動等を中心に心豊かな教育を推進している。

推進したり努めたりしていると思うが結果に結びついてないと思う。日々の学校生活で起こったクラスの問題点を題材にした方が自然で子供たちの心に響く。悪いことをだめだといえる勇氣、それぞれがいい関係をもてるような道徳の授業や体験をたくさんしてほしい。わがままな子供たちが多い印象。心豊かな教育を推進しているとあるが子供たちに伝わっているのか。先生の目の届かないところで様々な問題が起きていることを知ってください。具体的にどのように心に感じる授業をしているのか伝わってこない。→今年度は、子供たちの道徳的実践力を高めるために、校内研究で道徳について授業改善に取り組んできました。道徳を通して、自己を肯定的に受け止め、日常生活の課題に対してよりよい判断ができるよう指導しています。心の成長は、短期間で結果として表れるとは限りません。これからも継続的に心豊かな子供を育てるための教育を研究し、推進していきます。

家庭との連携モデル校だからこそできる何かに期待したい。→今年度「学校と家庭の連携推進事業」に取り組みました。これは、いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生活指導上の課題に対応するためのものです。授業中や休み時間の子供たちの見守りをお願いしたり、専門家のアドバイスを受けたりして、具体的に説明できるものではありませんが、一定程度の成果は見られています。しかし、これは国の事業であり、東京都、練馬区とおりてくるため、練馬区内では年に3校程度しか受けられず、来年度も継続できるものではありません。今年度の取り組みを生かすようにして、引き続き生活指導上の課題に取り組んでいきます。

学校は、体力向上の充実に努めている。

体育の授業がどの学年も説明や準備、後片付けにほとんどの時間を費やしてしまい実際に体を動かしている時間が少ないと思う。→昨年、一昨年と校内研究で体育の授業改善に取り組み、1単位時間あたりの運動量の確保については、十分心がけて指導はしています。しかし、単元の内容や流れの関係で、どうしても説明、準備、後片付け等に時間がかかってしまうこともあります。引き続き昨年度までの研究成果を生かし、適切な運動量を確保し、その運動の特性に触れた楽しさを味わえる指導の工夫をしていきます。

長なわ、マラソン等あるが期間限定で少ない気がする。→長縄、マラソン等は、子供たちに外遊びを十分させるため、定期的に取り組んでいます。また、各クラスでクラス遊びを考え、全員で遊ぶ機会も設けています。「休み時間は外で遊ぶ」ことは学校のきまりであり、子供たちがさらに休み時間十分体を動かすよう、工夫していきます。子供に必要な運動量の確保は、学校だけでは限界があります。ご家庭でも、休みの日などの外遊びの声かけをよろしく願います。

運動出来る環境が整っていない。体育の授業だけでは足りないし、体力も低下している気がする。土日の校庭が

開放されず公園もボール遊び禁止のため、土日に子供とボール遊びができないこと非常に残念。運動できる環境が年々厳しくなっている。子供たちはどこで体を動かせるのか。小学校としての改善をぜひお願いしたい。→向山小は、体育館とプールの建て替えの際に校庭の個人開放が休止し、その後平日のみになってしまったという経緯があります。土曜日の個人開放の復活を学校応援団にお願いし、検討していただいているところです。

学校は、算数の少人数指導を効果的に実施している。

自分の子供にどれほどの効果を及ぼしているのか全く分からないので4とした。効果的だったらもう少し理解度が上がりミスも少なくなっている。せっかくの少人数だからこそできるきめ細やかなサポートを期待したい。レベルの高いクラスは問題をたくさん解かせる方が力がつくのでは。子供たちに習熟度のどのクラスで勉強するのか周知したほうがよい。他校では、希望を出せると聞いた。「もう少し長いスパンでもよいのでは。担当の先生が違うので、子供の分かっていない部分を担任の先生が把握しきれていないことがあり、不安。人数は減っているが、きめ細やかな指導に結びついていないかは疑問。子供はそう実感していないよう。担任の先生以外だと、かえって相互理解がされていない分、授業の理解度が下がってしまっていると懸念する。→算数の少人数指導は、東京都の方針に基づき、教室等の確保ができない学校を除いて全ての学校で取り組んでいるものです。少人数指導については、すでに10年以上前から行われ、成果の検証もしっかりなされています。本校でも、5年生の学力調査における児童質問紙調査では、算数の習熟度別指導で学力がついていると答える子供が9割を超えていました。少人数担当教員と担任との連絡も密に行っています。習熟度別指導がより効果を発揮できるよう、さらにきめ細かい指導を充実させていきます。

学校は、子供や保護者の相談に適切に対応している。

何かあっても、先生を困らせるのでは、この位のことで、と思われてもと思い、声を出せないという現実もある。→毎年4月の保護者会で校長が話していることですが、些細なことだと思われても、何かお子さんについての困りごとや指導や対応に対する疑問がありましたら、遠慮無くすぐに相談してください。保護者の皆様と学校との信頼を築くためには、コミュニケーションが欠かせません。よろしく願います。また、担任だけでなく、校長、副校長、養護教諭、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員、学年主任、生活指導主任等、相談窓口はたくさんあります。伝えやすいところで構いませんので、声をかけてください。

学校は、開かれた学校づくり(学校公開・お便り・ホームページ等)を推進している

行事のお便りは工夫してほしい。学校主観でわかりづらいときがある。学芸会の開始目安など早めに連絡いただきたかった。→学芸会保護者鑑賞日の進行については、天候により大きく変わってしまうこともあり、敢えてお知らせしていませんでした。どのようにするか、今後検討していきます。

土曜授業日=学校公開が今までは多かったように思うが、土曜日に授業を見ることができない日があり残念。→今年度は、平日も含め、7回の学校公開日を設定しました。これは、1週間の時間割、全てを参観していただくために行ったことです。土曜日だけの学校公開とすると、土曜日に勤務できない時間講師の先生などもいるため、全ての教科の参観をしていただくことができません。学校公開以外の土曜授業日につきましても、普段と同様、事前に(前日までに)ご連絡をいただければ参観できます。遠慮無くお申し出ください。

学校は、学習環境を整え子供の安全確保に努めている。

目白通りを横断させることに少し不安を感じます。可能な限りサポートいただけると幸いです。→向山小の交通指導員配置は2名のため、自転車等の通行量が多い正門と東門前に配置しています。3名に増員ができると目白通りにも配置できますが、ここ数十年にわたり練馬区内のどの学校も増員が認められていないという現状があります。保護者や地域の皆様のご協力をお願いしていきます。

小中一貫教育への学校の取り組みが分かりやすく伝わっていますか。

何をしているのか全然知らない。どのような点が小中一貫として行っていることなのか保護者としても理解したい。→小中一貫教育の推進は、児童、生徒間の連携では、開二中の生徒会が本校の全校朝会でいじめ防止に関わる「思いやり宣言」を伝えてくれたり、6年生の希望者が開二中の部活動を体験したりします。また、中学校では家庭学習の時間が増えるということから、家庭学習カードを活用した学習習慣作りをしています。教員間の連携では、学校間の情報交換や人権に関する研修を行うなどの取り組みを行っています。保護者の皆様へ説明したりお知らせしたりする機会を増やす工夫をしています。

貫井中の学区になるため意義もあまり感じられない。→小中一貫教育は、連携校との関係だけではありません。連携のシステムを構築することによって、他の進学校との連携も図っています。

紙面の都合で全ては紹介できませんでしたが、改善案・回答に関する質問等ございましたら、遠慮なくお寄せください。また、1月・2月の学校公開アンケートでは、多くの方から、「授業に集中する様子がよかった。」「楽しく学習していた。」等のご感想をいただきました。しかし、中には児童の授業態度を心配するご意見もいただきました。本校では、教員が校内研究やその他の研究会に参加して指導力向上に努め、それぞれの教科・領域で児童の実態に合った学習の準備をしています。いただいたご意見を参考にさせていただくとともに、さらに研究を重ね、魅力ある授業づくりをしていきます。また、教職員一同、一層児童理解に努め、指導や相談を行っています。学校へのご質問、ご相談はいつでも受け付けていますので、ご連絡ください。【連絡先】03-3999-9145 校長までどうぞ

3月の目標

- 生活目標 「身の回りをきれいにしましょう。」
 あいさつ目標 「あいさつは相手の目を見て
自分から。」
 保健目標 「健康な生活習慣が身に付いたか、
ふりかえってみよう。」
 給食目標 「じょうぶな体をつくりましょう。」

平成30年 3月行事予定

1	木	安全指導	保護者会 3, 4年
2	金	水曜時程	旅立ちの会
3	土		
4	日		
5	月	全校朝会	委員会活動
6	火		
7	水	児童集会	P T A 年度末総会
8	木	5時間授業	
9	金	5時間授業	
10	土		
11	日		
12	月	全校朝会	
13	火		
14	水		
15	木		
16	金	5時間授業	
17	土		
18	日		
19	月	全校朝会	
20	火	給食終了	5時間授業
21	水	春分の日	
22	木	修了式	卒業式予行
23	金	卒業式	
24	土		
25	日		
26	月	春季休業日始	
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		

今月の避難訓練は、予告なしで行います。

平成30年度 4月 主な行事予定

- 4月5日(木)
2年生・6年生登校日
- 4月6日(金)
始業式 8:10 登校
入学式 9:20 受付
- 4月9日(月)
2~6年生 給食始まり
- 4月11日(水)
1年生 給食始まり
保護者会 5・6年生
- 4月12日(木)
保護者会 3・4年生
- 4月13日(金)
保護者会 1・2年生
- 4月20日(金)
1・2年生 遠足
- 4月23日(月)
3・4年生 遠足

学年の窓 ~ 6年生 ~

6年生はこの1年、数々の「最後の」に取り組んできました。

4月にはたてわり班をまとめるのに苦労していましたが、今ではペアの1年生とは本当のきょうだいのように仲良く過ごしています。中には親子のように見える微笑ましいペアもありました。

先日行われた「たてわり長なわ集会」は、6年生がリードする今年度最後のたてわり班活動でしたが、班の集合場所を分かりやすく示すなど、担任が細かく指示を出さなくても自分たちで考え行動している姿に成長を感じました。この1年間で取り組んできた「最後の」で、68人の6年生は本当に大きく成長することができました。

そんな6年生もいよいよこの3月で向山小学校を卒業します。今までお世話になった保護者の方々や教職員、そして共に励まし合った仲間へ感謝し、最後まで全員で団結して卒業を迎えてほしいと願っています。

4月以降、新たな一步を踏み出す6年生、68名をあたたく見守っていただくと幸いです。

1組担任 服部 澄夫
2組担任 小林 裕実

教育活動へのご協力、ボランティア参加等ありがとうございました。

今年度、本校の教育活動へ様々なご協力をいただきました。学校安全安心ボランティア、校外学習の引率補助、学習・行事等の支援など、仕事や家事で忙しい中、子供たちのために時間を作って活動をしてくださいました。

子供たちが安心して学習、生活できることは、学校生活の基盤となるものです。改めて、地域、保護者に支えられている向山小学校であることを認識し、支えてくださっている全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございます。

次年度も今年度同様に、ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

校長 早川 修一